



保育園について



About US

かきつばた保育園

kakitsubata

ふざける時は大人、子ども関係なく思いっきり！
何か楽しい事をする時のテンションと勢いはその辺
の園には負けません！



About US

ももの木保育園

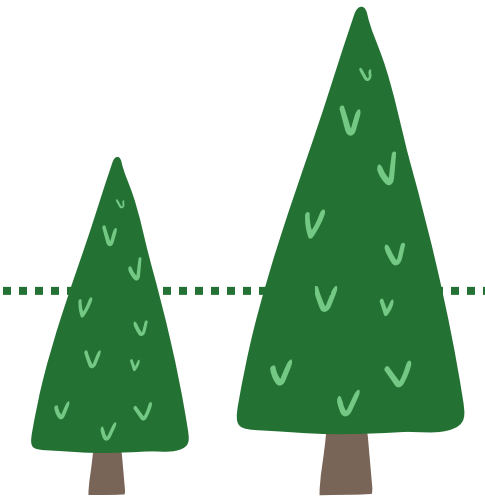
momonoki

天王寺という都会の中で田舎っぽい泥臭い園を目指しています。園庭があるからこそその泥遊び、泥団子づくりに日々明け暮れております。

*先生も服は汚れます。



目次



01 園児数・職員数

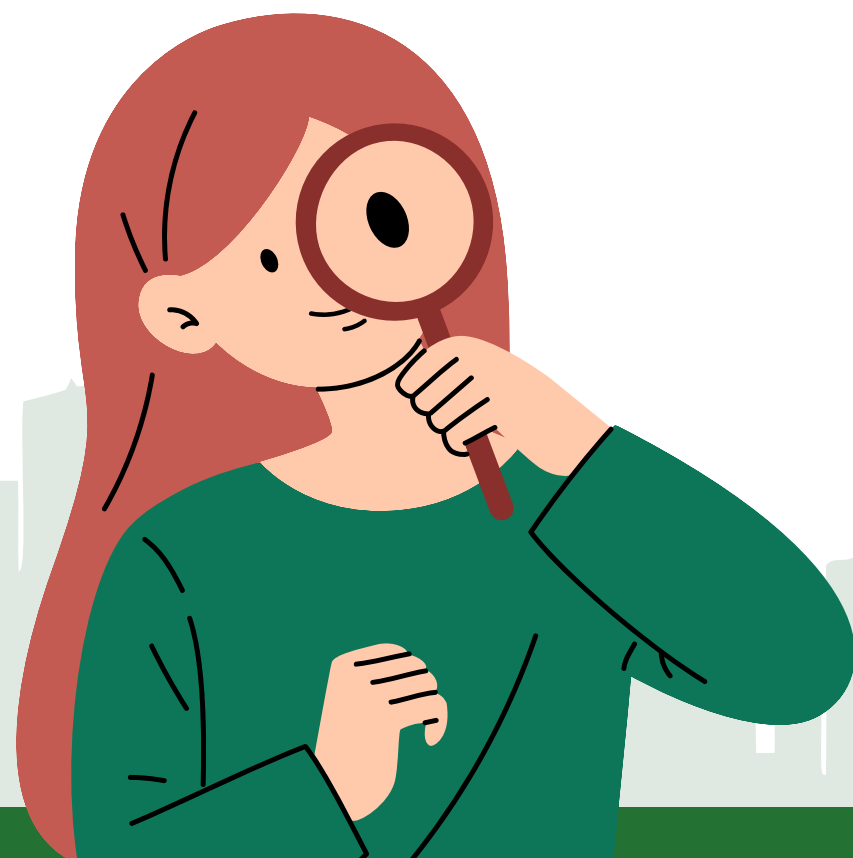
02 保育園の特色

03 保護者さん・先生たちの声

Table of
Contents

園児数・職員数

01



01

園児数・職員数

両保育園の園児定員

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
12名	18名	18名	20名	20名	20名	108名

実際の園児人数（両園過去2年間の平均）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
12名	18名	18名	16名	17名	17名	98名

01

園児数・職員数

実際のシフト

クラス	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	フリー職員
園児数	12名	18名	18名	16名	17名	17名	主任（幼児主任・乳児主任）：2名 正職保育士：1名 6h以上勤務保育士（週5日）：4名 6h未満勤務保育士（週3-4日）：4名 子育て支援員（週5日6h以上）：2名 育休者：2名
担任数 （正社員）	4名	3名	3名	1名	1名	1名	

主任も含めてフリーの先生が10名以上は毎日確実にいてくださるので
 日中はどのクラスも基本的には担任の先生＋2名で保育を行っています。

（多いと1歳児クラスに大人が6名いる時もあります・・・）

02

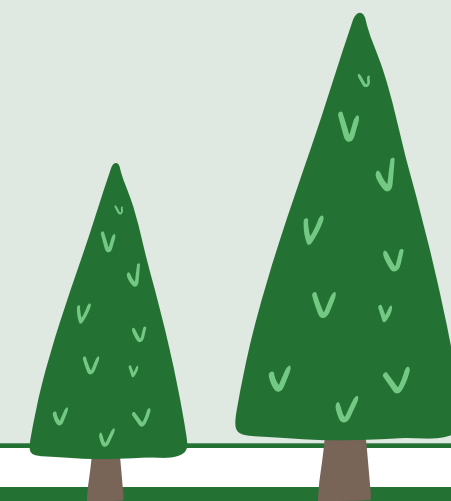
保育園の特色



HPには硬い表現が多いですが、簡単に言うと、私たちはこのような保育園を目指しています。

「のびのびと子どもたちが子どもらしく、様々な体験を通じて楽しむ保育園」
その上で大切にしたいことが5つあります。

- 先生自身が余裕を持って自分自身の生活を大切にすること！
- 行事や保育は先生たちの思いが込められたものに限ること！
- 先生たちは大声で話さず、怒鳴らないこと！
- ふざける時は大人も子どもも一緒にふざけきること！
- 何よりも子どもたちに愛情をもって接すること！



- **先生自身が余裕を持って自分自身の生活を大切にすること！**

すごくストレートな表現ですが、先生たちに余裕がないとイライラします。機嫌も悪くなってしまいます。

だからこそまずは、自分自身の生活を大切にし、先生たち自身が少しでも満たされた状態であることが子どもたちにとって一番良い事だと考えています。

サービス残業をしたり、仕事を持ち帰ったりよりも家族や友人との時間や自分の時間をまずは大切にしましょう。

就職したからといっていきなり大人にはなれません。まずは自分自身を大切に少しずつ慣れること。そこが整えば子どもたちを非常に可愛く思えるはずですよ。



・行事や保育は先生たちの思いが込められたものに限ること！

歴史や伝統が無いような保育園が出来ることは「今の」子どもたちに寄り添うことです。

子どもたちは今、何が好きで、何を楽しいと思うのか。そして先生たちは子どもたちに何をしてあげたいのか。それが一番大切だと思います。

確かに毎年同じ行事で同じ出し物をする良さもあります。でも、大きい行事こそが良いとは限らないので小さくても先生から子どもたちへの思いがこもった日々の保育や、行事を大事にしていきましょう。

楽しい事だけじゃない仕事です。だからこそ少しでも思いを大切に、大人も子どもたちも一緒に楽しめる保育園にしたいと考えています。



・先生たちは大声で話さず、怒鳴らないこと！

先生が大きな声で怒鳴ると普段の子どもたちの声も大きくなります。それに対して先生たちがうるさい。静かに！となると子どもながらに矛盾を感じます。

もちろん叱らないといけない時はあります。でも、叱ると怒るは違います。言葉は何歳になっても使用する大事なものです。だからこそ言葉は丁寧に手渡しするようにしましょう。

それを実行するには先生に余裕がないと誰でも怒ってしまいます。イライラします。子どもたちに少しでも優しくなれるような自分でいられる環境をこれからも一緒に創っていきましょう。



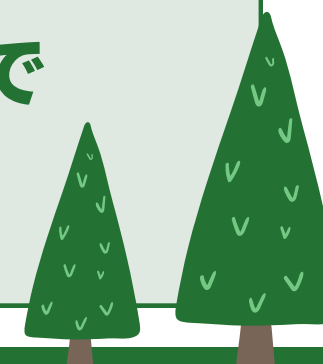
・ふざける時は大人も子どもも一緒にふざけきること！

大事なことは「やる」じゃなく「やりきる」事だと思います。これは別に死ぬ気でやりきれとかそんな根性論ではないです。

遊ぶ時、ふざける時は大人になっても遊びきりましょう。ふざけきりましょう。それで怒られたらごめんなさいで裏で笑えばいいんです。

子どもたちは驚くほど先生の顔色を見ています。先生が楽しんでいないと子どもたちも気を遣います。

はみ出すくらい。やりすぎくらいがちょうどいいんです。はみ出し過ぎたら園の誰かがそっと止めてくれます。そこで初めてブレーキを学べば十分なので遠慮するなら子どもたちの為にもアホになりきる事も大事だと思います。



・何よりも子どもたちに愛情をもって接すること！

結局はこれです。本に載ってるようないい保育をしようと、すごく見栄えのいい行事をしようとそこに愛情がなければ何の意味もないんじゃないでしょうか。

自分も保護者になって感じますが、保護者が求めているのは自分の子どもを可愛がってくれるかどうかです。そして意外と送迎の一瞬で「この先生は合うな。」とか「この先生はうちの子苦手なんだろうな。」はわかったりします。

だからこそ保育のスキルや知識、経験よりもまずは今のあなた自身で子どもたちを可愛がるところから、知るところからゆっくりスタートしましょう。それが何よりも子どもたちにとっても親にとってもあなたが先生でいてくれる意味だと思います。



03

保護者さん

先生たち

からの声



保護者さんからのアンケートより

保育園に魅力
を感じている

87%

子どもたちが楽しんで
通ってくれている

96%

先生たちが楽しそうに
過ごしている

83%

2023年実施した
保護者さんへのアンケート

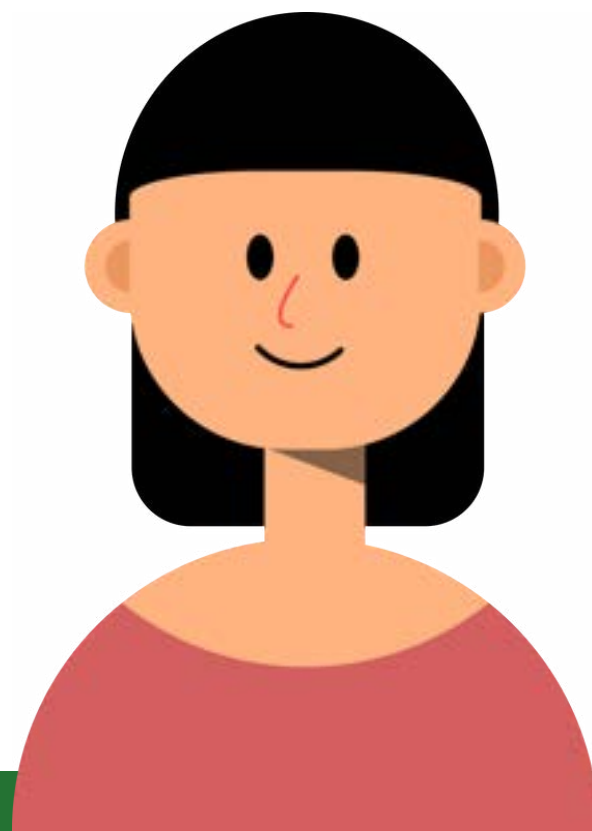
03

保護者さん・先生たちの声

保護者さんへのアンケートでいただいた声

行事の時は毎年親も子どもと一緒に楽しんでるので毎年楽しみです！

(4歳児クラス 母)



先生同士が楽しそうにされていてそれを子どもがいじってるのがいつも笑えます。

(5歳児クラス 父)



よくそんな行事思い付くなと思う事もしてくれているので感謝しています。

(2歳児クラス 母)



怪我の時は園長先生と担任の先生どちらからも説明してくれるので安心です。

(3歳児クラス 父)



03

保護者さん・先生たちの声

先生たちへのアンケートより



2023年実施した先生たちへのアンケート

03

保護者さん・先生たちの声

先生たちからアンケートであがった声

新卒でもキャリアアップを園負担で受けさせてくれるのが嬉しい。

(2年目 保育士)

基本的に最後一緒に謝るからやってみと任せてもらえるのでやりやすい。

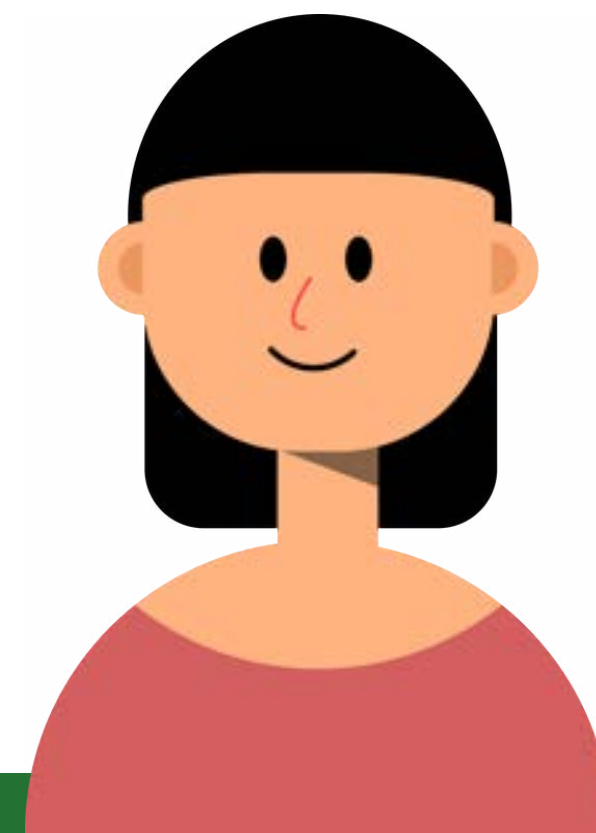
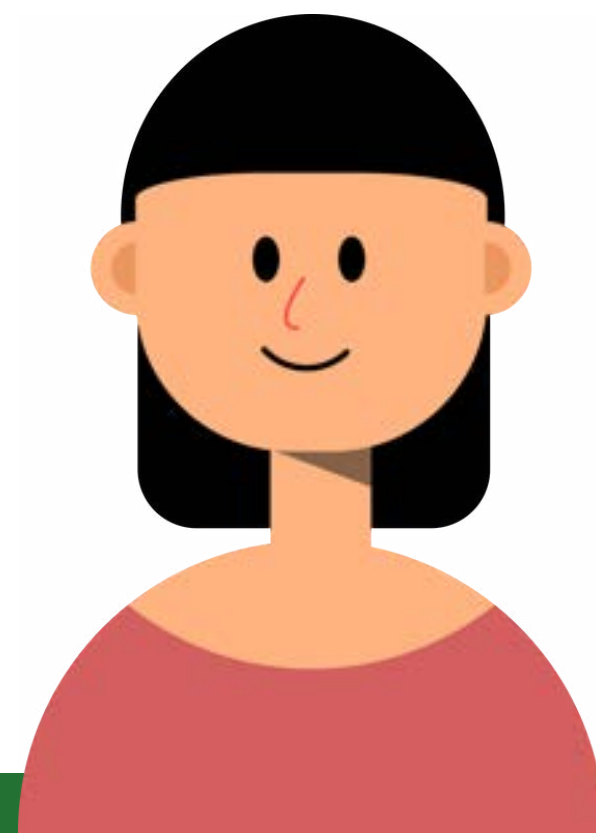
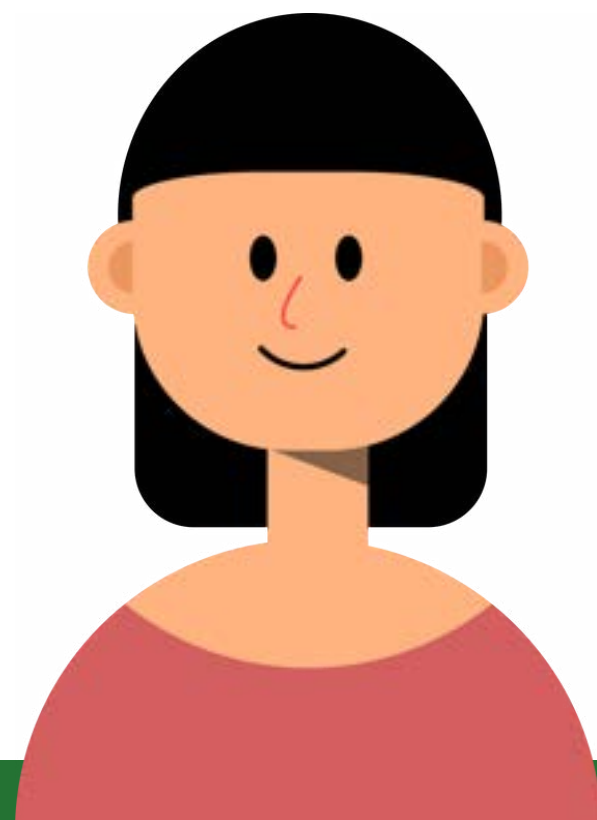
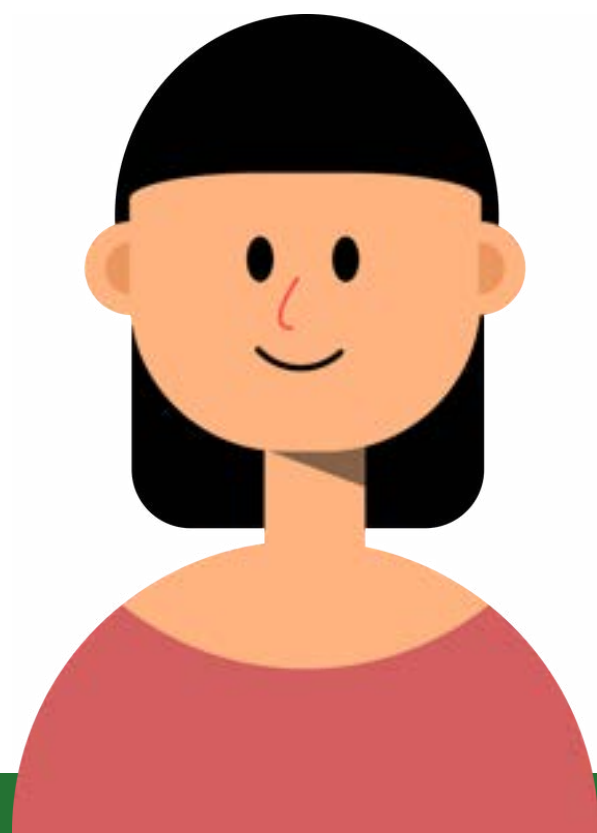
(1年目 保育士)

20代、30代の先生ばかりなので実習時の年配の先生の怖さは無かった。

(2年目 保育士)

皆さん良くも悪くも好き勝手に意見を言ってくれるので主張が聞けて楽しい。

(30代 主任保育士)



03

保護者さん・先生たちの声

先生たちからアンケートであがった声

若手先生に発想では勝てないのでフォローとしての道を新たに見つけた。

(18年目 保育士)

基本的に自由にやらせてもらえてるので現場としては助かる。

(6年目 保育士)

休みが取れるので身体が楽。人も多いので制作等細かい所に時間を使える。

(8年目 保育士)

仲良く働いてくれていて、子どもたちも楽しんでくれてるので今の状態が良い。

(50代 園長)

